

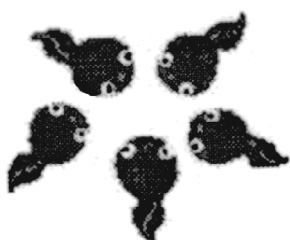
ニューズレター 2013 年度第2号

日本音楽表現学会 2013 年 11 月 30 日発行

2014-15 年度会長・理事選挙特集

【巻頭言】 音楽の感動をすべての人々に	吉永 誠吾	2
日本音楽表現学会 2014-2015 年度会長・理事選挙	中 磯子	3
ごあいさつ		3
1) 選挙管理委員会の任務		3
2) 選挙日程		3
3) 選挙実施方法		3
4) 選挙公示		4
5) 会長・理事の推薦・立候補に関する手続き (付・関係各種書式)		5
6) 2014-15 年度年度会長・理事選挙被選挙・選挙有資格者について		7
新入会員紹介		9
日本音楽表現学会後援コンサート等情報		10
会員による CD リリース		11
第 12 回大会発表募集		12
事務局からのお知らせとお願い		13
1) 『音楽表現学』 Vol.11 刊行と Vol.12 投稿募集のお知らせ		
2) 会費納入について		
3) 正しいメールアドレスと連絡先をお届け下さい!		
4) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法		
5) ニューズレターへの投稿		
6) 学会の会員サポート制度をご活用下さい。		
7) 各種書式 「入会申込書」「コンサート等後援願」		
日本音楽表現学会第 10 回大会のご案内		15
2011 年度役員		15
編集後記		15

日本音楽表現学会



所在地：〒 616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：〒 520-0862 大津市平津 2-5-1 滋賀大学教育学部杉江研究室気付

Tel. & Fax. 077-537-7792

E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

http://wwwsoc.nii.ac.jp/jmexs/

年会費 (5,000 円) の振り込み

郵便振込口座：01370=6=78225 加入者名：日本音楽表現学会

音楽の感動をすべての人々に

吉永 誠吾 (ヴァイオリン／会計担当理事)

本学会も次年度「まほろば大会」で発足から12回目を迎える。会員数も400名を超え、大きく成長しつつある。いわば成長著しい学会であるということができよう。前回の学会では、佐々木実行委員長の指導のもと、まさに感動に満ち溢れた合唱を聴かせていただき、シンポジウムでは、講師の佐藤泰平氏のリーダーシップのもとで音楽表現学会ならではの、会員の皆様の豊かな表現力が示された。今回は「声」をテーマにした基調講演で幕が開く。私自身はヴァイオリンが専門なので、「声」と深いかかわりがあると感じている。

私たちは歌を歌うとき、声の調子を様々に変化させながら、音楽のもつ表情を表現する。このことは管楽器や弦楽器にも共通している。つまり、管楽器や弦楽器奏者は音の表情を様々に変えて、作曲家が意図した音楽の表情を表現するのである。そしてその表情が聴衆に正しく伝わった時、演奏者と同じ気持ちになり感動を呼ぶのである。おそらく、管弦楽器のサロンをはじめとして活発な論議がなされるのではないかと考えている。

折口信夫は「歌う」は「訴う」と語源を同じくしていると述べている。いわば、心に思うことを「訴える」から「歌う」のだというわけである。ショーペンハウアーもその著『意志と表象としての世界』の中で「音楽が表現しているものは喜びというもの、悲哀というもの、苦痛というもの、驚愕というもの、歓喜というもの、愉快というもの、心の安らぎというもの、それ自体なのである」と述べている。トルストイはさらにそれを芸術の概念に広げて「一度味わった心持を自分の中に呼び起こして、それを自分の中に呼び起こした後で、運動や線や色や音や言葉で表わされる形にしてその心持を伝えて、他の人にも同じ心持を味わうようにするところに、芸術の働きがある。芸術とは、一人の人が意識的に何か外に見えるしるしを使って自分の味わった心持を他の人に伝え、他の人がその心持に感染してそれを感じるようになるという人間の働き

だ」と述べている。

ショーペンハウアーはまた「すべての芸術は音楽の状態にあこがれる」とも述べており、E・T・ガストンは「音楽がこんなに楽々と人の心に通うことを可能にしていることが言葉でもできるなら音楽などなかったし、また、音楽を生むニーズもなかったでしょう。」と述べている。ということは、逆にいえば何も感動を呼ばない音楽は単なる音響でしかなく、音楽とも芸術とも呼べないということになる。

私事で恐縮だが、私は本年3月に熊本大学を定年退職した。それによって様々な雑務からも解放された。今はじっくりと音楽に向き合うことができ、それを自分の演奏や音楽の研究に生かすことができると感じている。時々、演奏や講演に呼んでいただく機会があるので、ゆつくりと時間をかけて準備し、感動してもらい、喜んでいただけるように工夫をしている。音楽に携わるすべての人たちが、わずらわしい雑務から解放されて、音楽に真剣に向き合うことができるようになれば、音楽の恩恵に浴する人も、もう少し増えるのではなからうか。

鳥倉千代子が亡くなった。いわゆるクラシックの音楽家からすれば彼女のビブラートは失格なのだろうが、若い頃の彼女のビブラートは、何か怪しげな魅力を持っており、それが多くのファンを生んだのではなからうか。次回の学会で活発な論議がなされ、それがまた多くの会員のさらなる研究につながることを期待している。



理事会風景 (2013年12月1日 滋賀大サテライトにて)

日本音楽表現学会 2014-2015 年度会長・理事選挙

選挙管理委員長 中 磯子

ごあいさつ

2014年7月1日～2016年6月30日任期の会長・理事選挙は、中磯子、鈴木慎一郎、西野晴香の3名が選挙管理委員会のメンバーとして、業務を担当いたします。間違いが起こらないように慎重に取り組みたいと考えています。

委員会の任務は右の7点です。前回の選挙の日程を参考に、みなさまのご協力を得ながら、任務を滞りなく進めたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 選挙管理委員会の任務：

- 1) 選挙日程の作成
- 2) 選挙資格者及び被選挙資格者名簿の作成
- 3) 選挙の公示
- 4) 投票用紙の作成・送付
- 5) 投票用紙の回収・開票
- 6) 選挙結果の報告
- 7) 2014-15年度役員決定の事務手続き

2. 選挙日程：

選挙公示	2013年11月30日(土)	於：「ニューズレター No.2」誌上
推薦・立候補受付期間	2014年1月8日(水)～2月8日(土)	当日消印有効
被選挙人名簿、投票用紙等の作成・送付	2014年2月9日(日)	於：学会事務局
投票期間	2014年2月11日(火)～3月12日(水)	当日消印有効
開票・選挙結果を会長へ報告	2014年3月16日(日)	於：学会事務局

3. 選挙実施方法：以下の規定に基づいて進めます。

日本音楽表現学会選挙規定

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 選挙方法は無記名投票による。 | が特定できる記載がなされているときは、その投票はすべて無効とする |
| 2. 投票権者の確認は、返信用封筒に記された発信人名によって行う。発信人名の記入が無いときは、封入されたすべての投票は無効とする。 | 8. 選挙管理委員会は、当選者、次点者および次々点者の氏名と順位、得票数を選挙結果報告書に記載し、開票に立ち会った委員全員の署名を付して会長に提出するものとする。 |
| 3. 投票権者は、選挙管理委員会指定の投票用紙を用いて、定められた期日までに委員会に到着するように投票しなければならない。理由の如何を問わず、代理投票は認められない。 | 【附則】 |
| 4. 候補者が定数を超える場合には、投票用紙には、定められた人数以内の被選挙人名を記入するものとし、これを超えて記入した場合は全部無効とする。 | 1. 役員の任期は当該年度7月1日から始まるものとする。 |
| 5. 候補者が定数と同数の場合には信任投票とし、投票用紙に記載された候補者名簿の信任する被選挙人の氏名の上に○印を記入するものとする。 | 2. 役員に欠員を生じたときは、就任の日から6カ月以内ならば次点者を繰り上げ当選とし、6カ月を越えた場合には、原則としてすみやかに選挙を行い、これを補充する。但し、その任期は前任者の残任期間とする。 |
| 6. 投票用紙の記載が不明確な票については、選挙管理委員会が有効か無効かの判定を行う。 | 3. 本規定は2004年2月1日から実施する。 |
| 7. 投票用紙または投票用紙用小封筒に、投票者名 | 4. 本規定は2010年6月12日から実施する。 |
| | 5. 本規定は2012年6月23日から実施する。 |

4. 選挙公示：選挙規定に基づいて、2014-15 年度役員選挙を以下のように公示します。

2014-15 年度役員選挙公示

2013 年 11 月 30 日

日本音楽表現学会会員のみなさま

日本音楽表現学会選挙管理委員会

日本音楽表現学会会則第 11 条、12 条および、日本音楽表現学会役員選出に関する内規に基づき、2014-15 年度の役員選出のための選挙を下記のように行います。

記

選出役員：会長 1 名、理事 8 名

任 期：2014 年 7 月 1 日（火）～ 2016 年 6 月 30 日（木）

方 法：推薦・立候補制

推薦・立候補受付期間：2014 年 1 月 8 日（水）～ 2 月 8 日（土）（当日消印有効）

被推薦者・立候補者の公示：2014 年 2 月 9 日（日）

投票方法：無記名投票で郵送

投票期間：2014 年 2 月 11 日（火）～ 3 月 12 日（水）（当日消印有効）

開 票：2014 年 3 月 16 日（日）

（結果を即日会長へ報告、ニューズレター 2013-No.3 に掲載）

結果承認：2014 年 6 月 21 日（土） 於：2014 年度総会

5. 会長・理事の推薦・立候補に関する手続き：

推薦・立候補に関する手続きは以下の通りです。本学会の充実と発展のために会長と理事に相応しいと思われる方を候補として選出します。会員のみなさまの積極的な推薦や立候補をお待ちします。

2014-15 年度会長・理事の推薦・立候補に関する手続き

1. 推薦・立候補受付期間：2014 年 1 月 8 日（水）～ 2 月 8 日（土）（当日消印有効）

2. 提出書類：（選挙の告示時に公表）

1) 推薦の場合：以下の 2 点を提出して下さい。なお、様式は（様式 1～4）をご参照下さい。

・ 1 名の推薦につき、推薦者 2 名と推薦理由 A 4 用紙 1 葉

・ 本人の承諾書と簡単な経歴、主な研究業績 5～10 点 A 4 用紙 1 葉

2) 立候補の場合：以下の 2 点を提出して下さい。なお、様式は（様式 5、6）をご参照下さい。

・ 学会に関するポリシー A 4 用紙 1 葉

・ 本人の簡単な経歴、主な研究業績 5～10 点 A 4 用紙 1 葉

3. 郵送先：〒 520-0862 大津市平津 2-5-1 滋賀大学教育学部杉江研究室気付

日本音楽表現学会事務局内 選挙管理委員会（当日消印有効）

以下、p.5～p.9「選挙関係様式」「被選挙権者名簿」「選挙権者名簿」及び新入会員紹介」削除

日本音楽表現学会後援コンサート等情報

{ 多田 純一さん
紺谷 志野さん

レクチャーコンサート

澤田柳吉の出版作品 - 日本人最初のショパン弾きによる未発表作品を含む

日 時：2013年9月26日（木）

会 場：大阪芸術大学 芸術情報センター AV ホール

主な内容：BARCAROLLE、白鳩のむれ、暁山雲、夕暮 ほか

演 奏 者：多田純一、紺谷志野、尾崎由布子

料 金：無料

主催後援：大阪芸術大学芸術研究所

{ 鶴澤 友球さん
(向田由美)

鶴澤友球 浄瑠璃ライブ vol.12

日 時：2013年10月14日（月）14:00 開演

会 場：向田宅（淡路市中田 1673-1）

演 目：『艶容女舞衣』〈酒屋の段〉弾き語り

演 奏 者：鶴澤友球

料 金：一般 1,400 円 高校生以下 1,000 円

主 催：友球会&鶴澤友球

{ 石場 惇史 さん
河原 千尋 さん

音楽表現のバトル

日 時：2013年11月4日（月） 18:30 開演

会 場：軽井沢大賀ホール

主な内容：J.S. バッハ トッカータ、 ショパン「幻想即興曲」「ワルツ」 他

演 奏 者：河原千尋

ゲスト出演：競技ダンサー 浅村慎太郎 / 遠山恵美組

料 金：3000 円 前売り 2500 円

主 催：石場プロダクション

{ 鶴澤 友球さん
(向田由美)

素浄瑠璃を楽しむ会 in 多可町

日 時：2013年11月10日（日）13:30 開演（13:00 開場）

会 場：兵庫県多可町 加美コミュニティプラザ

趣 旨：淡路島の伝統芸能である素浄瑠璃の普及・振興を図るとともに、地域間における文化的交流を図る。

主な内容：アマチュア太夫による素浄瑠璃の上演と、鶴澤友球の指導による素浄瑠璃のお稽古体験。外題／『一谷嫩軍記』二段目〈組討の段〉

主 催：「素浄瑠璃を楽しむ会」実行委員会

{ 鶴澤 友球さん
(向田由美)

鶴澤友球 浄瑠璃ライブ vol.13

日 時：2013年11月24日（日）14:00 開演

会 場：向田宅（淡路市中田 1673-1）

演 目：徳島在住の竹本友和嘉さんをお迎えして『伽羅先代萩』〈御殿の段〉を上演。

演 奏 者：太夫：竹本友和嘉 三味線：鶴澤友球

料 金：一般 1,800 円 高校生以下 1,500 円

主 催：友球会&鶴澤友球

鶴澤友球さん
(向田由美)

鶴澤友球 浄瑠璃ライヴ vol.12

日 時：2013年12月7日(土) 14:00 開演
会 場：向田宅(淡路市中田1673-1)
演 目：『仮名手本忠臣蔵』六段目<身売りの段>他、弾き語り
演 奏 者：鶴澤友球
料 金：一般1,400円 高校生以下1,000円
主 催：友球会&鶴澤友球

はざま ゆか さん

鍵盤ハーモニカの芸術 はざまゆかりサイタル

日 時：2013年12月11日(水) 19:00 開演
会 場：松本市音楽文化ホール(小ホール)
主な内容：フランク「ヴァイオリンとピアノの為のソナタ」、サラサーテ「ツイゴイネル
ワイゼン」 ハチャトゥリアン「剣の舞」、吉田桂子「祈り」(初演)
演 奏 者：はざまゆか(鍵盤ハーモニカの芸術)、渡辺かおる(Pf.)
料 金：2000円(全席自由) -
主 催：ムジカコンパス

大野内 愛 さん

大野内愛ソプラノリサイタル～女の愛と生涯～

日 時：2014年3月22日(土) 19:00 開演(18:30 開場)
会 場：広島市南区民文化センター スタジオ
主な内容：モーツァルト作曲「すみれ」「ラウラに寄せる夕べの想い」など、
シューマン作曲「女の愛と生涯」、小林秀雄作曲「落葉松」「すてきな春に」など、
ドナウディ作曲「私の愛の日々」「かぎりなく優雅な絵姿」など
演 奏 者：大野内愛、枝川泰子(Pf.)

会員による CD リリース

北川 純子さん

CD 《名人竿忠／誉れの水馬》

浪曲口演・藤田元春 曲師(三味線)・北川純子
キングレコード KICM5552 1,200円
Amazon、全国のレコード店でお求めになれます。

後藤 丹さん

CD 《生きているということ》

収録曲：混声合唱組曲《気球の上る日》(後藤丹作曲)
混声合唱組曲《みまかれる美しきひとに》(後藤丹作曲)
混声合唱のための《生きているということ》(川崎智徳作曲)ほか
指揮：仁階堂孝、合唱：Ensemble Evergreen ほか
ジヨバンニ・レコード GVCS 31304 2,835円

第 12 回大会発表募集

このニューズレター最終頁の案内にありますように、第 12 回大会が 2014 年 6 月 21 日 (土) ～ 22 日 (日) に帝塚山大学学園前キャンパスで開催されます。ついては、会員のみなさまの発表を以下のとおり募集します。日本音楽表現学会では音・音楽表現の例示のために他学会よりも発表時間を長くしています。日頃のご研究をお持ちよりいただき、会員のみなさまと共有、意見交換をしませんか。多数のお申し込みをお待ちしています。

～ ～ ～ ～ ～ 記 ～ ～ ～ ～ ～

発表形態と時間：

研究発表	会員個人による研究発表 30 分と質疑 10 分	40 分
共同研究	2 人以上の共同による研究発表と質疑	内容により 40 分または 90 分
ワークショップ	実践体験を含むプレゼンテーションと質疑	内容により 40 分または 90 分
デモンストレーション	VTR 作品上映などと質疑	内容により 40 分または 90 分

発表申込：発表申込：発表タイトルと発表形態のみを下記の様式にしたがってお申し込みください。

※ 切：2014 年 2 月 28 日 (金)

申込先：学会事務局 music-expression@music-expression.sakura.ne.jp 宛にお送りください。

* 『大会要項』原稿についての詳細は、申込受付後に申込者にお知らせします。

申込様式

日本音楽表現学会第 12 回大会に発表を申し込みます。

- 氏 名 _____
- 連絡先住所 〒 _____
電 話 _____
E-mail _____
- 発表形態と題目 該当欄に○をつけてください。
() 研究発表 題目 _____
希望所要時間 () 40 分 () 90 分
() 共同研究 題目 _____
希望所要時間 () 40 分 () 90 分
() ワークショップ 題目 _____
希望所要時間 () 40 分 () 90 分
() デモンストレーション 題目 _____
希望所要時間 () 40 分 () 90 分

事務局からのお知らせとお願い

1. 『音楽表現学』Vol.11 刊行と Vol.12 投稿募集のお知らせ

『音楽表現学』Vol.11 をお届けいたします。機関誌の充実は学会の成長の証しです。Vol.12 の投稿締め切りは2014年5月31日。皆様からのますます活発なご投稿をお待ちいたします。

2. 会費納入について

○年会費未納の方には、今回「未納年会費納入のお願い」を同封しています。学会のすべての活動は皆様方の年会費で運営されております。機関誌の発行、大会の開催などさまざまな活動に支障をきたすことのないよう、速やかな納入をお願いいたします。なお、会則により、3年以上年会費滞納の場合には会員を「除名」となりますので、ご注意ください。(行き違いご送金済みの場合はご容赦ください。)

○年会費については『音楽表現学』巻末に「経費関係細則」を掲載していますので、ご参照下さい。なお、学生会員は、学部生に限られます(会則第5条)。

○納入は必ず郵便振替でお願いします。無意識滞納対策の一助として、納入後はただちに、右側の「振替払込請求書兼受領証」(ATMご利用の際は「ご利用明細票」)に、納入年度のメモをお残しただくことをお勧めいたします。なお、学会では原則として改めての領収書発行はいたしておりません。

* 以上、ご不明の点につきましては、事務局までお問い合わせ下さい。

3. 正しいメールアドレスと連絡先をお届け下さい!

事務局では、さまざまなお知らせをメール配信いたしておりますが、リターン・メールがつねに何通かあります。「最近何も届いていない」という場合、お届けのアドレスが旧アドレスのままである可能性があります。事務局にお問い合わせ下さい。また、メールアドレス・連絡先ご住所等を変更された場合には、下記アドレスから「会員情報フォーム」にてお届けいただくか、もしくは事務

局までメール等で直接お知らせさせていただきますようお願い申し上げます。

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

4. 『音楽表現学』バックナンバー購入方法

ご希望の方はメール等で事務局までお申し込みください。以下の代金は、到着後郵便振替でお願いします。

会員価格：Vol.2～Vol.3は1部1500円+送料

Vol.4～Vol.11は1部3000円+送料

一般価格：Vol.2～Vol.3は1部3000円+送料

Vol.4～Vol.11は1部3500円+送料

大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

なお、Vol.1は残部がありません。

5. ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見、掲載記事に関するご意見などを掲載します。テーマは自由です。皆様のご投稿をお待ちします。

- ・研究ノート、随想など：図表等を含めて刷り上がり1頁以内
- ・コンサート案内：学会後援(申請については後述)のものを掲載します。
- ・新刊案内・CD/DVDリリース案内：会員による刊行物等の紹介を行います。上梓されましたら購入方法なども含めてお知らせください。
- ・その他：所属されている他学会の情報などもお寄せください。
- ・投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

6. 学会の会員サポート制度をご活用下さい。

- ・研究発表の場の一つが機関誌『音楽表現学』です。本学会は「日本学術団体」の広報協力団体です。『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度

度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

- ・大会の口頭発表は、これまでの研究を発信し、それを参加者一同と共有する場です。会員自身の音楽表現の創意や工夫、実践を披露し、その妥当性を問うワークショップなど、日本音楽表現学会ならではの生の音楽表現を含めた発表の機会をご利用下さい。
- ・コンサート・出版物等の後援または協賛のご案内：会員による各種演奏、ワークショップ、イベント、出版物の刊行などの活動を学会は「後援」または

「協賛」します。

7. 各種書式

以下の書式にて、メール本文貼り付け、またはワード文書添付、あるいは郵送で事務局まで送付してください。

学会事務局メールアドレス：

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

学会事務局所在地：

〒 520-0862 大津市平津 2-5-1

滋賀大学教育学部杉江淑子研究室気付

1. 「入会申込書」書式

入 会 申 込 書 日本音楽表現学会に入会を申し込みます。 年 月 日	[備考] <ul style="list-style-type: none">・「入会申込書」を送付いただきましたら、事務局から年会費納入のための郵便振替票を送ります。年会費ご入金の確認をもって手続きを進め、入会承認後、「入会承認のお知らせ」文書をお手元にお届けします。・入会申込書はHPからもダウンロードできます。・学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。・お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。
氏 名（ふりがな）： 専門分野： 所 属： 自宅住所：〒 連絡先：（上記と異なる場合）〒 連絡先 Tel.： 連絡先 Fax.： e-mail： 推薦者名（学会員・1名） 音楽表現学会に期待されること。ご意見等：	

2. 「後援願」等書式

学会URL「コンサート出版物等、後援・協賛申請フォーム」からお申し込み下さい。

3. その他 他の書式が必要なときには、事務局へお申し出下さい。

日本音楽表現学会第12回大会のご案内

- ・期 日：2014年6月21日（土）～22日（日）
- ・会 場：帝塚山大学学園前キャンパス（奈良市学園南3-1-3）
- ・基調講演：講 師：藍川由美氏（声楽家） テーマ：「声」
- ・シンポジウム：企画・司会：村尾忠廣
シンポジスト：現在交渉中
テーマ：「声をつくる」

学会企画統一テーマWS 「音楽表現の理念と技法」⑨様式と表現、⑩現代社会における創作表現
研究発表等：現在募集中。詳細は本ニューズレター p.12をご覧ください。

・会場へのアクセス

近鉄奈良線「学園前」
（特急・快速急行・急行・準急が停車）
下車徒歩約1分

【陸路】

名古屋・東京方面から【東海道新幹線】利用
「京都」下車、近鉄京都線「大和西大寺」で
「なんば行」に乗換「学園前」下車。（約41分）

岡山・広島・九州方面から【山陽新幹線】利用
「新大阪」下車、市営地下鉄御堂筋線に乗り換え
「なんば」下車、「なんば」から「近鉄奈良行」で
「学園前」下車（約40分）

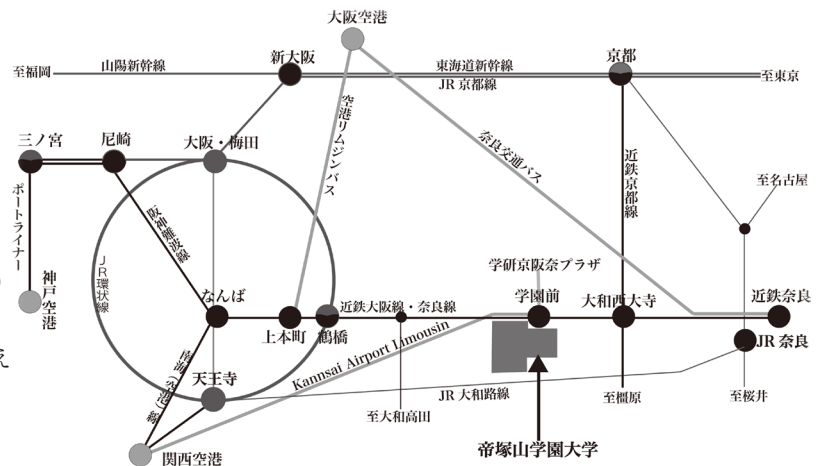
神戸方面から

阪神「三ノ宮」から阪神近鉄相互乗り入れ「学園前」下車。（約65分）

【空路】「関西空港」利用：関西エアポートリムジンバス「学研京阪奈プラザ行」で「学園前」で下車。（約80分）

「大阪（伊丹）空港」利用：奈良交通バス「近鉄奈良行」で「大宮」または「近鉄奈良」で下車。近鉄大阪線で「学園前」下車。（約75分）
空港リムジンバス「近鉄上本町行」で「上本町」で下車。近鉄大阪線「学園前」で下車。（約70分）

「神戸空港」利用：ポートライナーで「三ノ宮」へ、阪神「三ノ宮」から阪神近鉄相互乗り入れ「学園前」で下車。（約85分）



2013年度役員一覧	編集後記
<p>会 長： 安藤 政輝 副 会 長： 北山 敦康 事務局 長： 杉江 淑子 理 事： 奥 忍（事務局担当） 後藤 丹（総務担当） 小畑 郁男（会計担当） 吉永 誠吾（会計担当）</p> <p>編集委員会： 委員長 菅 道子 副委員長 中村 隆夫 委員 安藤 珠希 小野 亮祐 澤田 まゆみ 志民 一成 伊野 義博 小西 潤子 安田 香</p> <p>拡大委員 選挙管理委員会： 委員長 中 磯子 委員 鈴木 慎一郎 西野 晴香 監 事： 海津 幸子 谷口 雄資 会長諮問会議：草下 實 佐々木 正利 中村 隆夫 安田 香 参事：（事務局） 似内 裕美子 松井 萌 近藤 晶子 （会計担当理事付） 袴田 和泉</p>	<p style="text-align: center;">「歌う」が「訴える」と同語源とは……。やはり音楽表現には心の高まりが不可欠ということか。</p> <p>当学会も11月30日現在で会員数が438人となり、このニューズレターがお手許に届く頃には、チューニングの基準音Aの振動数440に達しているかもしれません。</p> <p>会員数の増加に伴い、理事の定数も今度の役員選挙を経て現在の6名から8名に増強されます。大所帯になってもお互いの顔が良く見える学会であり続けることを願っています。</p> <p>多士済々、いろいろな専門家が揃ってきました。これまでも会員同士のアンサンブル活動が盛んなようですが、この調子で行くと、日本音楽表現学会オーケストラや学会混声合唱団なども生まれるかもしれません。ともあれ、皆様、楽しい年末と晴れやかな新年を！</p> <p style="text-align: right;">（後藤 丹）</p>